



改築工事が完了した東保育園

平成30年度

# 決算審査の概要

今定例会では、平成30年度決算認定議案9件の審査を各常任委員会に付託して行いました。

予算の執行が法令に基づいて、合理的・能率的・効果的に執行されたか、また、公共の福祉向上に寄与したかなどを主眼に審査し、来年度予算編成に向けて、次のとおり指摘・要望いたしました。

## 〔指摘・要望事項〕

### 総務委員会

- ①はすびいと他のキャラクターの「コラボレーション」などを引き続き行い、蓮田市の認知度向上に努めること。
- ②災害時に井戸水を有効活用できるよう検討するとともに、発電機などの機材を拡充すること。
- ③災害時用簡易トイレの備蓄についての予算要求を適切に行うこと。
- ④避難行動要支援者名簿を有効活用するための計画を立てて、自治会等と緊密に連携を図ること。
- ⑤検査業務については、丁寧な検査を堅持すること。
- ⑥職員駐車場の使用に関しては、関係課と連携を図り、職員の利便性を高められるよう検討すること。
- ⑦滞納処分の停止を適正に運用し、関係各課と連携した生活困窮者の生活再建のための支援にも、引き続き配慮すること。
- ⑧投票証明書の作成を工夫するなど、子ども

もや有権者が選挙を身近に感じられる取り組みをやること。

### 民生文教委員会

- ①重度心身障害者医療費の助成にかかる所得制限に対し、市として今まで通り助成を続けること。
- ②敬老会事業で、行事に参加できない方に対する対応を検討していくこと。
- ③発達支援センターの開所日を、働く親のニーズも考慮し、増やすよう検討すること。
- ④子どもたちの読書活動の幅を広げるため、学校図書購入費については増額を図ること。
- ⑤ハストピアについては、共用部分に係る弾力的な運用を検討し、より市民が利用しやすい施設運営を目指していくこと。

### 建設経済委員会

- ①東日本大震災福島原発事故の影響による水道水・汚泥検査費用は、東京電力に対して引き続き請求していくこと。
- ②食品の放射性物質検査は継続すること。また、市民持込みの放射性物質検査は

自家栽培・自家消費だけでなく、市販品も対象とすること。

③黒浜沿周辺の整備については、みどり環境課と道路課が連携をとり、遊歩道と合わせて整備をやること。

④環境学習館の第2期建設にあたっては、太陽光発電や雨水貯留施設を設置し、自然エネルギー活用の啓発に取り組みすること。

⑤駅前広場は市の玄関口であり、樹木等定期的に手入れをすること。

議案第64号 平成30年度蓮田市一般会計歳入歳出決算認定について

## 反対討論

### 市民の暮らしを守る 行政を求める

決算は市民の暮らしを守るため税金の使い方をチェックするものである。徴収強化、情報漏えいにつながるマイナンバー制度は中止するべきである。国民健康保険税引下げのため法定外繰出金をもっと増額すべきである。保育士の待遇改善を行い正規職員を増やすべきである。学童の指導員は、民間人材派遣に頼るのではなく、指導員の待遇を改善し、人材確保を図るべきである。道路改良をスピード感をもって進めるべきである。以上の理由で日本共産党は反対する。

## 反対討論

### 平成30年度 蓮田市一般会計歳入歳出 決算認定に反対

平成30年度蓮田市一般会計から、平

成30年度蓮田都市計画事業蓮田駅西口第一種市街地再開発事業特別会計について繰り入れが行われていますが、特別会計にある権利床等整備費10億円の使途が不明確です。このため、特別会計歳入歳出決算の認定に反対することから、特別会計に繰り入れをした本一般会計の決算認定についても反対する。

**議案第65号** 平成30年度蓮田市民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**蓮田市民健康保険特別会計歳入歳出決算認定に反対**

国保は社会保障制度であり、国民皆保険制度を下支えする役割であるにもかかわらず、他の公的医療保険よりも所得に対しての負担が重い状況がある。蓮田市の国保滞納世帯のうち約半分以上が所得百万円に満たない低所得世帯との実態があり、一般会計からの法定外繰入額増額や約12億円を越した基金を活用し、高い国保税を引き下げるべきとの観点から、日本共産党は反対する。

**議案第66号** 平成30年度蓮田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**蓮田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定に反対**

そもそもこの制度は、収入が少ない一方で医療費がかさむ75歳以上の後期高齢者を国保や健保組合から引き離して独立させた保険制度であり、受けられる医療

の制限をかけ、保険料も2年毎の見直しで重い負担を課す差別的医療制度である。均等割額の軽減措置も段階的に引き下げられており、高齢者の負担を強いるこの医療制度に反対し、日本共産党は反対する。

**議案第67号** 平成30年度蓮田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**蓮田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定に反対**

介護保険制度は、要支援者の訪問・通所介護の保険料給付外しに続き、昨年10月には生活援助についても制限、今後は利用者負担の2割への引上げも検討されている。介護サービスから多くの高齢者を除外し、利用者や若い世代に大幅な負担増を押し付けることから、市としても約6億円を超える基金を積極的に活用して必要な介護が安心して受けられるようにすべきと考え、日本共産党は反対する。

**議案第71号** 平成30年度蓮田都市計画事業蓮田駅西口第一種市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**平成30年度蓮田都市計画事業蓮田駅西口第一種市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算認定に反対**

西口再開発ビルの総工費58億円は、補助金12億円とマンションなどの売却益46億円で賄います。しかし市は、これと

は別に権利床等整備費10億円を支出し、そのうち7億円がビル本体の整備費に使われます。この件を市に問いたとしても都市整備部長の答弁は二転三転し、本会議が何度も止まり、答弁の訂正があるという事態で、その7億円がどこに使われているかわからない。従って、決算認定に反対する。

**議案第72号** 平成30年度蓮田市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

**反対討論**  
**小口利用者に負担重く、資金積み上げは18億円以上**

反対理由は、平成29年10月からの水道料金値上げである。水の供給単価は、改定前の159.3円に対し平成30年度は184.2円で、1mあたり24.9円の値上げとなった。一方、平成30年度の資金期末現在高は18億2153万円にもなる。値上げ時に提示された改定案の資金残高13億400万円と比べて、5億1000万円以上の増である。小口利用者に負担を強いて値上げし、資金残高で18億円も持つ必要があるか疑問であり、日本共産党は反対する。



ホームページで  
会議録が閲覧  
できます

<http://www.city.hasuda.saitama.jp/>

議案の審議内容や一般質問などを詳しくお知りになりたい場合は、市議会会議録がホームページでご覧いただけます。これまで市役所などの公共施設に備えてあった会議録は、今までも同様に次の施設でご覧いただけます。

- 市役所行政資料コーナー
- コミュニティセンター
- 農業者トレーニンングセンター
- 図書館
- 中央公民館及び関山分館